

『映像で理解する吸引の技術』 『映像で理解する経管栄養の技術』 「実践」に つなげることができる ビジュアル教材



監修：岸あゆみ・城山敏江・日高朋美／定価：各巻 30,450 円(本体 29,000 円＋税 5%)
発行：ビデオ・バック・ニッポン／TEL：03-3405-3173

口腔・鼻腔・気管内吸引、経管栄養法は、習得すべき必須の基礎看護技術です。近年、病院という特別な環境のみならず、介護施設・在宅看護の場面でも必要とされています。こういった幅広い場面で安全・安楽で確実な看護技術を行うために、看護基礎教育では、基礎的な解剖・病態生理の理解に加え、実践能力の向上が求められています。

本 DVD『映像で理解する吸引の技術』と『映像で理解する経管栄養の技術』では、基礎知識、適応や禁忌、実際の手順とポイント、という項目で構成されており、内容は実際の技術・手順だけにとどまりません。

基礎知識の部分では、基礎的な解剖・病態生理の解説から、適応までを盛り込んだ内容になっており、国家試験対策としても効果的な教材となるでしょう。また、実際の手順とポイントでは、手洗いを含めた準備から、患者への説明、実施、感染防止を考慮した物品の片づけまでの説明がされていて、より実践に即したものになっています。患者への声かけや配慮すべきことなどについても丁寧に表現されています。

特に実施部分では、実施前・中・後の患者の状態把握のための観察項目が詳細に説明されています。さらに要所の解説には、体内のカテーテルをイメージできるような図も随所にあり、解剖生

理を含めたカテーテル挿入の長さなど効果的な表現がされています。手技のポイントとなる部分では、映像を巻き戻しながら目的や根拠を含めた説明が加えられ、看護教育として求められている根拠に基づいた看護ができるように、教材としての工夫がされていて感心させられます。

また目を引いたのは、経管栄養の注入速度の計算方法の解説や、実施前に看護師が指差し確認をしている映像があることです。今まで看護教員が技術演習内で説明していた内容まであり、学内で行う技術演習の準備教育としても活用しやすい教材となっています。

そして教材という点でいうならば、介護職の研修にも活用できる内容構成で、介護職と連携を図りながら協働する看護の職場においても役立つものとなっています。

看護基礎教育では、実践に即したわかりやすい映像教材が必要です。「どう伝えれば興味をもつだろう」「こんな媒体を使ってみようか」「実践の場に行って活用できる内容にしたい」と考える毎日。看護基礎教育に携わる教員の方々にお勧めできる、そして、「こんな教材がほしかった！」に応えるビジュアル教材だと感じます。